

「Road to ユネスコ みやぎきKAGURAフェスティバル2023」 の開催について

令和5年8月1日
文化財課

神楽に対する県民の興味、関心を高めるとともに、本県が現在進めている神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成するため、県内外の神楽団体による公演等を行う「Road to ユネスコ みやぎきKAGURAフェスティバル2023」を開催する。

1 日時

令和5年8月6日（日）午後3時から午後6時30分まで

2 場所

宮崎市民文化ホール 大ホール

3 内容

- ・オープニング公演
県立日南くろしお支援学校生徒による「風田神楽」
- ・基調講演
小川直之氏（國學院大学名誉教授、大学院客員教授）
「みやぎきの神楽の魅力」
- ・神楽公演
国指定重要無形民俗文化財「小川神楽」（西米良村）
国指定重要無形民俗文化財「球磨神楽」（熊本県人吉市）

4 その他

- ・神楽公演については、後日、YouTubeでの動画配信を行う
- ・公演当日は、受付ロビーにブースを設置し、神楽関連イベント等の紹介、関係自治体による観光PRや特産品の販売、みやぎき犬によるグリーティング等を行う。

観覧無料
要申込

※定員になり次第受付を
終了いたします

Road to ユネスコ

みやざき KAGURA フェスティバル 2023

オープニング公演

宮崎県日南市

風田神楽

宮崎県立

日南くろしお支援学校

基調講演

小川直之氏

國學院大學名誉教授
大学院客員教授

神楽公演

宮崎県西米良村

小川神楽

熊本県人吉市

球磨神楽



風田神楽



球磨神楽



球磨神楽



球磨神楽



小川神楽

令和5年

8/6日

開演 15:00 (開場 14:00)

終演 18:30

会場

宮崎市民文化ホール 大ホール

宮崎市花山手東3丁目25-3

詳細・お申し込み方法は裏面をご覧ください

主催：宮崎県教育委員会

～ Road to ユネスコ ～

神楽は、全国各地で独自に発展し、地域に深く根づいてきた、日本を代表する民俗芸能です。

その数は4,000を超えると言われ、宮崎県内でも200以上の神楽が受け継がれています。

しかし、人口減少や少子高齢化などにより、その保存・継承が危ぶまれています。

全国各地の神楽に活力をもたらし、未来につないでいくために、

宮崎県が中心となって、神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指しています。

神楽の魅力を宮崎から全国へ…そして世界へ！

◆ オープニング公演

^{かぜ た} 風田神楽 宮崎県立日南くろしお支援学校(風田神楽保存会)



宮崎県立日南くろしお支援学校は、今年で創立46年目を迎える県南部南那珂地区唯一の特別支援学校である。校舎の東側に太平洋を望み、豊かな自然に囲まれた環境にある。平成27年から、風田地区に伝わる神楽を「風田神楽保存会」の方々に教わりながら熱心に練習に取り組んできた。令和3年に開催された「心のふれあうフェスタ」に出演。

風田神楽は、日南市風田地区に伝わり、2月第1日曜日に春祈年祭として風田神社で奉納される。古老の言い伝えでは、豊玉姫が竜宮から亀に乗って風田地区に上陸したとある。風田神楽は、稲作準備前に豊作を祈願する作神楽として奉納される。

◆ 基調講演

^{お がわ なお ゆき} 講師:小川 直之氏(國學院大學名誉教授、大学院客員教授)



1953年神奈川県生まれ。國學院大學文学部文学科卒業。専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。平成25年度より宮崎県の「みやざきの神楽魅力発信委員会」委員長として、神楽の保存継承や魅力発信、また神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組に携わる。令和5年5月からは宮崎県の「みやざき大使」に就任。その他、独立行政法人日本芸術文化振興会評議員や南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザーなどを務める。

◆ 神楽公演

^{お がわ} 小川神楽 宮崎県西米良村 国指定重要無形民俗文化財(令和5(2023)年指定)



写真提供・撮影:生田 浩

西米良村に伝わる小川神楽は、小川地区の鎮守で御祭神を大山祇命・磐長姫命とする米良神社に伝わる。

小川神楽が奉納される機会は12月第2土曜日、日曜日で、33番の夜神楽が執り行われる。

米良の神楽では、地主神(土地神)が多く登場する。神のお降りに際して、素面の舞で場を清め、神々をお迎えし、介添え、神送りまでを務める。小川神楽では、磐長姫命が出席する「御祭神舞」までは厳粛で優雅な舞が続き、その後の演目からは勇壮で賑やかな舞となり、神楽せり歌も出て、座が盛り上がる。土地の神々が出席し、神と人が舞い遊ぶ。

◆ 神楽公演

^{く ま} 球磨神楽 熊本県人吉市 国指定重要無形民俗文化財(平成25(2013)年指定)



人吉球磨地方に伝わる球磨神楽には15世紀の神楽記録が残る。鈴や御幣、剣などを持つ採物舞を主体とする神楽である。

元は33番が伝承されていたが、現在は「三番神楽」「獅子」「岩潜」「大小」「御前」など17番が伝わり、獅子以外はいずれも直面である。元来は神職による神楽であったが、昭和37年に球磨神楽保存会が結成され現在に至る。

10月8日夜、青井阿蘇神社おくんち祭で17番すべてが奉納されるのを皮切りに、約2か月間、人吉球磨の40以上の神社の祭礼で3～10番程度、奉納される。神前に向かって舞う神人和楽の神楽である。

申し込み方法

特設サイトにて「①氏名 ②住所 ③ご連絡先(電話番号) ④申込人数」を入力の上、お申し込みください。

特設サイト

<https://www.miyazaki-en-bridge.jp/miyazaki-kagura/>

みやざきKAGURAフェスティバル2023 検索



問合せ先

「みやざきKAGURAフェスティバル」事務局
TEL 0985-89-5883(株式会社ポリパレント内)
受付時間 9:00～18:00/土・日・祝祭日を除く

会場案内図

